

# 東大校友会ニュース

March 2017

U T o k y o  
A l u m n i  
A s s o c i a t i o n  
N e w s

no. 32

## *contents*

- 2 | 「多様性を生きる・育む」  
卒業生活動の新たな可能性を求めて
- 8 | 創立140周年・第16回 東京大学  
ホームカミングデー同日開催
- 10 | 「知」がひらく  
～新たな価値創造への挑戦
- 16 | 同窓会だより  
同窓会活動・設立レポート
- 18 | 東京大学基金  
いま貢献していただけること

# 「多様性を生きる・卒業生活動の新たな可能性」

東京大学校友会には様々なカテゴリーからなる300近い同窓会が登録されています。従来からある学部・学科や地域、サークルの同窓会に対し、共通の関心をもって集い、職域や開かれた「フォーラム」のような活動を進める卒業生の集まりがあります。プロフェッショナルとして互いの専門性を高めながら、在校生を巻き込み、多様性を生み出す働きを牽引する卒業生からのメッセージです。



## ふたたび東大とともに

**卒**業して、三十数年になるが、近頃、いくつかの事で、再び東大とつながりを持つことになった。

一つめは、東大蔵元会である。3年前に農学部の北本勝ひこ教授（現名誉教授）からのお声かけで、東大卒業生の酒蔵経営者らが集まった。秋のホームカミングデーで、銀杏並木にテントを出し、各々の酒を試飲してもらっている。昨年は10社が参加して、秋のやわらかな日差しのもと、香味豊かな日本酒を訪れる人々に楽しんでいただいた。東大出身の蔵元数は意外と多い。

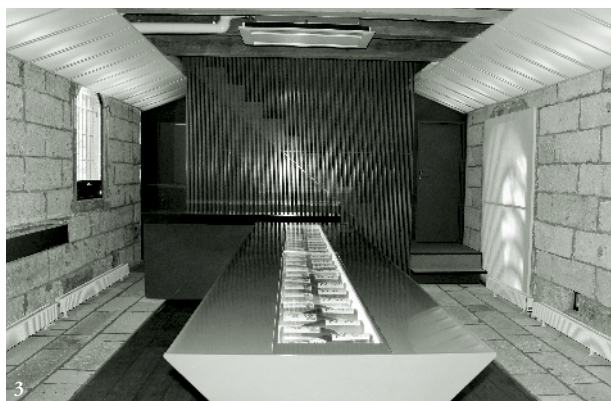
二つめは、東大ボート部 OB会のプライベートラベル、「淡青」を作らせていただいたことだ。東大ボート部 OBの熱意により生れたPB「淡青」。我が社の「惣<sup>そう</sup>誉<sup>ほまれ</sup>生<sup>せい</sup>配<sup>はい</sup>仕<sup>し</sup>込<sup>こ</sup>み 特別純米」と「惣<sup>そう</sup>誉<sup>ほまれ</sup>生<sup>せい</sup>配<sup>はい</sup>仕<sup>し</sup>込<sup>こ</sup>み 純米大吟

醸」を採用いただいた。強固なOB会の絆をより強くしている。

三つめは、これも、北本名誉教授からのお話で、東大発甘酒プロジェクトの一端を担わせていただくことになったことだ。応用微生物学の世界的権威だった坂口謹一郎名誉教授（「お酒の神様」と呼ばれている）が戦中までに採取した麹菌を使い、農学部農場の米を原料として、米こうじを作り、甘酒を作るという計画である。麹菌はあらゆる日本の伝統醸造食に用いられる菌である。もっと日本人の食生活に存在感を示させたい、という思いと、麹菌に対する先生方の深い愛情から生まれた楽しい計画である。うまくいけば、この夏ごろには大学のオフィシャルショップ、UTCCで発売される予定である。麹菌のブームが到来するこ



1 生き生きと発酵するもろみ。発酵期間は3週間ほど。2 品質に優れた兵庫県特A地区の山田錦を精米。3 石造りのゲストハウスにある試飲室。凜とした空間である。4 地元産の大谷石で建てられた酒蔵。



# 「育む」 を求めて



とを祈念しつつ。

私自身は、大学を出てから数カ所をへて、1989年に実家に帰った。酒蔵を継いでからずっと、理想とする酒の味わいを求めて努力してきた。2001年から「生酛仕込」という、江戸時代から行われている伝統的な醸造法で酒を仕込むことを行っている。日本酒の醪もろみの元となる、酒母しゅぼという工程が現代の一般的な酒仕込みと違って、より自然の力を利用した造りとなっている。「生酛仕込」の酒は、コクがあって、きりりとした酸と、幾重にも重なる旨み旨みが特徴の、味わい深い酒である。時と共に成長する、とても深い美味しさである。

ここで最後に、四つめのつながりをあげておく。私の地元、栃木県東部も東日本大震災で大きな被害を受け、様々な建物の建

て直しを余儀なくされた。事務所を含む社屋と来客を迎える大谷石のゲストハウスの設計を、大学院新領域創成科学研究科の大野秀敏教授（現名誉教授）にお願いした。大野先生は私の妻の恩師であり、ものづくりの深さを共有してくださる素晴らしい建築家である。先生の建物も、とても深い。空間構成にきっぱりとしたおおらかさを持ち、そのなかにもちりばめられる研ぎ澄まされたディテール。良い日本酒ができる酒蔵だということ、建物を見ただけで感じとれるように作っていただいた。

惣嘗酒造株式会社代表取締役社長

**河野 遵** KONO Jun

1985年経済学部経済学科卒

<http://sohomare.co.jp/>



穏やかな表情の5代目当主河野遵氏と奥様純子さん(工学部建築学科卒)

## 取材後記

宇都宮駅から車で約40分。明治5年創業の蔵元がここにある。近江に端を発し、明治に栃木県市貝町にて日本酒製造を始めた惣嘗酒造だ。現当主は5代目。生口の酒の原料米はすべて兵庫県特A地区産の山田錦を使用し、ものづくり1本の姿勢を崩さずに生産している。職人たちの技を頼みに吟味を重ねて造る酒のため、大量生産ができず、残念ながら直接注文は受けていない。5年ほど前より海外輸出を始め、日本の「SAKE」を世界に広めるべく当主自ら営業に

奔走している。アメリカ、ヨーロッパ、アジア各地からの評判も高まってきているという。昨年のホームカミングデイでは、河野社長の声かけにより、惣嘗をはじめ、大七、新政、金水晶など人気の銘柄が勢揃いした。日本を代表する錚々たる銘柄が並び、それぞれの酒造りについて当主たちと直接話せる貴重な機会でもあった。日本酒「淡青」、東大発の甘酒、そして今年のホームカミングデイの蔵元たち出店に是非とも期待したい。

## Data

### 東大蔵元会

設立：2013年8月

趣旨：東京大学出身の蔵元が中心に集まり、その後東大に縁のある蔵元が続々参加。ホームカミングデイの銀杏並木で行われる「利き酒会」は目玉イベントのひとつとなっている。

2016年ホームカミングデイ出店蔵元：新政酒造/喜多屋/金水晶酒造/下越酒造/惣嘗酒造/大七酒造/武重本家酒造/長龍酒造/出羽桜酒造/鷺の尾



### 南出将志 MINAMIDE Masashi

2013年工学部社会基盤学科卒  
14年工学系研究科社会基盤学専攻 修士課程修了。ペンシルバニア州立  
大学気象学部博士課程在籍

「どうしてわざわざ東大まで行くの？」  
そんな言葉を聞いたことがおありで  
しょうか。兵庫県出身の私にとってもその  
ような感覚は他人事ではなく、明示的に言  
葉にはされないものの、「どうして面白お  
かしく住みやすい関西の地を離れて、遠い  
ところまで行くのか」という雰囲気は、高  
校生の時分に折につけ感じていたように思  
います。慣れ親しんだ地を離れるという行

## 「多様性を生きる・育む」

# 新たな選択肢への切符は、 その選択肢を知ること

為には、心理的な障壁が伴う  
ものです。関西弁から標準語  
の世界へ、薄口から濃口の世界へ。未知の文化圏に鎮座し  
た東京大学ではありましたが、  
高校生の私は何の疑いも無く  
それを身近な関西圏の大学と  
並べ、進学先候補として比較  
検討していたように思います。  
言わば、東京大学は関西圏の  
大学と地続きに繋がったとこ  
ろにありました。

翻って、海外の大学院はど  
うでしょう。海外大学院には、  
世界中から集まる優秀な研究  
者や学生たちと広がる人的ネ  
ットワーク、未知の世界に飛  
び出す高揚感といった代えが  
たい利点がたくさんあります。  
しかし、そこには国内の大学  
院とは文字通り“地続きにない”  
心理的な障壁があるよう  
に感じます。双方とも「修士」

や「博士」といった学位の取得を目指すも  
のであるにも関わらず、海外の大学院に進  
学するというのは、就職や国内の大学院へ  
の進学に比べてどこか異質で、身近ではな  
いことが多いようです。それこそ、その選  
択肢が脳裏にも浮かばないほどに。

東京大学の卒業生団体であるUT-OSAC  
は、そのような心理的な障壁を取り払うた  
めに「海外大学留学院説明会」を開催して

います。海外の大学院への出願方法や、利  
点、欠点、実際の生活の様子などを紹介す  
るこの説明会は、今年で7年目を迎えます。  
年2回（夏・冬）の開催時には、世界トッ  
プクラスの大学院から多様な留学生や卒業  
生、教職員を講演者として招き、毎回数百  
人の方にご参加頂いています。人によって  
大学院に求めるものは様々ですが、研究環  
境や教育体制、給与などの待遇を紹介し知  
ってもらうことで、海外大学院進学を選  
択肢の一つとして比較検討してほしい、海外  
大学院を国内の大学院と地続きのものとし  
て捉えてほしいというのが、UT-OSACの  
願いです。我々を魅了して離さなかった選  
択肢が一体どんなものなのか、みなさんにも  
知ってほしいのです。

「知のプロフェッショナル」が身に付け  
るべき感覚として、五神総長は「多様性の  
尊重」を挙げています。人々を画一化する  
のではなく、個々の違いを大切にするこの  
感覚の獲得には、連続的な物事を比較的  
同質な“地続きである”ものと、より異質な  
“地続きでない”ものに二分しない、幅  
広い視野が不可欠だと私は考えています。  
関西圏の大学と東京大学の違いを比べるよ  
うに、国内の大学院と海外大学院の違いを  
比べるような、言わば世界中が地続きに繋が  
った国際感覚こそ、これからの時代に培わ  
れるべきものではないでしょうか。

海外大学院留学説明会がその一助となる  
よう、今後も幅広く活動を続けていきたい  
と思います。

### Data

#### UT-OSAC

設立：2010年

趣旨：University of Tokyo, Overseas Study  
Advisory Community。略称UT-OSACは、東京大  
学の卒業生を中心とした、海外大学院留学に関する  
情報提供、説明会等の開催、およびそのサポートを  
行う団体。過去3000名以上の学生が参加している。



理系・文系、様々な領域と経歴の留学経験者が、学生たち  
の質問に答える。

## 「多様性を生きる・育む」

# 世界を舞台に！ 国際機関で働く魅力を後輩たちに伝えたい

**国** 際機関銀杏会は、国際機関を経験した先輩たちと将来国際機関で働きたい学生、若い社会人たちが集まる親睦団体です。2015年に駒場で設立され2016年に東京大学校友会に登録されました。フェイスブックグループでの情報交換、ネットワークワーキング、自主ワークショップ等により国際機関をめざすメンバーたちをサポートします。本会の趣旨に賛同して下さる研究者、国際機関職員の皆さんも含めて344人のフェイスブック会員が参加しています。

東大で難民問題について講義をされ、この1月に「難民を知るための基礎知識」(明石書店)を刊行され、メディアでも積極的に発言されている国連UNHCR協会理事長の滝澤三郎先生には当会の共同代表として、駒場JPO※注1ワークショップを指導していただいています。このワークショップは滝澤先生の授業に感銘を受けた学生の皆さんが集まって2016年4月に始まりました。現在62名が登録しています。各月に希望する10~15人の参加者で当日のテーマについて話し合います。この4月には新入生歓迎オリエンテーションなどを通じて新メンバーの募集を行う予定です。

2016年のホームカミングデイには、国際機関銀杏会も公開ワークショップを行いました。滝澤先生から国連システムと難民問題について、外務省国際機関人事センターの阿部智室長からは国連JPO制度の最新事情についてそれぞれ講演していただきました。4人の学生が加わったパネルのモデレーターを私が務めさせていただきました。開発実務者と学生の皆さんを含む40名ほどの参加者との質疑応答は、予定時間を越えて盛り上がりました。駒場で月の例会合にも数回参加された阿部室長から「様々なキャリアを考える上で国際機関というオプションもあることを知り、その実行の時期が来た時にあわてないだけの準備を学部時代に始めてほしい」というメッセージをいただきました。

当会の今後の方向として大切にしたいの

は学生たちのサポートを目指す他の団体との連携を強化していくことです。私どもは東大ドリームネット、東大三四郎会など社会人と在学生の交流を目指す活動に参加しています。そこで出会った人たちも国際機関銀杏会に参加してくれました。私が国連工業開発機関(UNIDO)時代から所属している国際開発研究者協会(SRID)という開発関係実務者と研究者のサークルがあります。キャリア開発事業担当幹事を務めており、キャリアガイダンス、懇談会などで当会との連携を図っています。

私は1980年代にペンシルベニア大学の修士課程で授業を受けていた時に卒業生であるゲスト講師たちの話を聞き、多くのアドバイスをもらう経験をしました。その後、UNIDOを経て、欧州復興開発銀行(EBRD)で25年に及んだ国際公務員生活を過ごしたのもOBたちから刺激を受けたのがきっかけでした。当会の活動を通じて在校生の皆さんのお役に立ちたいと願っています。

※注1 Junior Professional Officerの略



左から共同代表の滝澤三郎先生、頼りになる学生スタッフの由地莉子さん、竹村樹人さん、本島孔太郎さん、著者。

### 中沢賢治 NAKAZAWA Kenji

1979年法学部公法コース卒。国際機関銀杏会共同代表(元EBRDシニアバンカー、各地の事務所長を歴任)

#### Data

#### 国際機関銀杏会

設立：2015年  
趣旨：国際機関銀杏会は2015年に設立され、2016年に東京大学校友会に登録された親睦団体です。国際機関勤務を経験した先輩たちと、将来国際機関で働きたい学生、若い社会人、当会の趣旨に賛同される専門家、研究者の皆さんが集まるコミュニティ。国際機関をめざす若いメンバーたちをサポートしている。



ある日のワークショップの様子。貴重な意見交換の場である。

## 「多様性を生きる・育む」

# ママたち共有の悩みを一緒に考え、 正面から向き合う

**2** 007年ごろ、東大卒業生が集まるイベントで、30代後半の男性が若手卒業生に向けて世界をまたにかけて活躍している様子を語っていました。話が一通り終わった後、隣にいた別の卒業生が「しかも、こいつ、なんと子どもが3人もいるんだよ」と言いました。ところが、彼のたどってきた輝かしいキャリアのストーリーの中には、育児の話、家庭の話はまったく出てきません。海外を飛び回っている様子、妻は専業主婦とのお話から、育児にはあまり関与していないことがうかがえました。

もちろん、専業主婦(夫)になること、専業主婦(夫)の配偶者を得ること、はたまた結婚しないこと、子どもを産まないことも人生の選択肢として当然ありますし、家計分担と家事育児分担も夫婦の選択です。ただ、当時、共働きで子どもも欲しいと考えていた自分にとって、家庭生活との両立の悩みや葛藤を抱えずに済んだ先輩のキャリアは、「自分の参考にはならない」ものでした。「共働きで子育てしている方は、海外に行くときとかどうされてるんですかね……」と口に出すと、意外なことに、自分より年下の男性からも「実は、自分も、今付き合っている彼女とそれぞれ留学したい先や赴任したい先があるが、一緒に住む見通しが立たないまま結婚していいものか、悩んでいる」という声が挙がりました。

ちょうどその頃、東大はホームカミングデイなどに若手を呼び込もうとしており、キャリアやビジネス、社会問題については、存分にディスカッションする機会が設けられつつありました。ところが、そのような場の多くでは、家族をどのように形成していくかについてや、ライ

フイベントも含めた人生設計については、ほとんど触れられることがありませんでした。子育て真っ最中の共働きカップルは、休日に大学のアラムナイ活動に参加する余裕もないのか、在校生向けに話をしに来る卒業生も独身か、お子さんがいらっしゃる場合はほとんどが専業主婦の妻を持つ男性です。

でも、本当は大学生だって若手の卒業生だって、もっと家族のことも含めた話が聞きたいはず。そして、子育て真っ最中の卒業生たちも、同じ大学出身だからこそ共有できる悩みと一緒に議論したい材料を持っているはず——。そのような問題意識から、「子どもを連れて来ることのできる卒業生イベントをしよう」と思い立ち、「東大ママ門」を立ち上げました。設立から6年目になりますが、Facebookグループは現在337名が登録しています。キャリアや子育てについての相談が投稿されるとその日のうちに何件も質の高いアドバイスが集まります。年に1回のホームカミングデイでの交流会で毎年新しい運営メンバーを募り、年に数回の勉強会やオフ会を開催しています。こちらも「自分の子供のため」というよりは社会的視座を持ったママたちの質問や議論がいつも非常に充実したものになっていると感じます。

ちょうどその頃、東大はホームカミングデイなどに若手を呼び込もうとしており、キャリアやビジネス、社会問題については、存分にディスカッションする機会が設けられつつありました。ところが、そのような場の多くでは、家族をどのように形成していくかについてや、ライ



### 中野円佳 NAKANO Madoka

2007年教育学部卒。日本経済新聞社を経て、現在は女性活用ジャーナリスト・研究者として活躍。厚生労働省や経済産業省等の委員会に参加し、同世代の女性キャリアやライフイベントの問題に向き合う。東京大学大学院教育学研究科博士課程在籍。

#### Data

### 東大ママ門

設立：2011年

趣旨：東大卒で出産経験のある女性たちのコミュニティとしてスタート。母親同士の情報交換や、学生向けのアドバイスをやっている。これからママになりたい卒業生、東大ママの配偶者や学生も準会員として受け入れている。



同窓のネットワークで情報交換。キャリア、子育て、家族、人生設計などテーマも多岐にわたる。

# 創立140周年式典、第16回東京

東京大学は創立してから140年の年月を重ねてきました。その間、国民の皆様のご支援のもと、我が国ばかりでなく世界の学術の発展に貢献するとともに、有為な人材を社会に送り出して参りました。

140周年を迎え、その記念事業として、学生の学習環境や生活環境のさらなる充実のため、総合図書館の整備拡充や、学内の食環境の向上などに取り組みます。また、国際会議のための会場の整備なども進めます。

「変わる」「変わらない」「今・昔・未来」  
今後の各事業の展開にご期待ください。

# 大学ホームカミングデー

2017年10月21日(土)  
同日開催

卒業生の祭典、ホームカミングデー。イベントの数や内容も年々充実し、多くの卒業生に参加いただき賑わいを増しています。恒例の周年学年会、安田講堂音楽祭、リユニオン公開イベント、各学部・学科の講演会などに加えて、2017年は創立140周年の記念式典と著名ゲストによる記念シンポジウムも予定しております。銀杏並木下では東大蔵元会による利き酒会、パフォーマンスステージ、模擬店など「飲・食」の企画も充実。140周年を記念したスペシャルキャンパスツアー企画。お子様もお楽しみいただけます。秋の一日、時代の記憶を重ねつつ、旧交を深め、新たな時代に挑戦する東京大学のキャンパスに、友人、ご家族お誘い合せの上ご参加ください。



## 卒業20周年学年会

1993年入学／97年卒業／97年院入学／99年医学部卒業



## 卒業30周年学年会

1983年入学／87年卒業／87年院入学／89年医学部卒業



## 卒業40周年学年会

1973年入学／77年卒業／77年院入学／79年医学部卒業

詳細は決まり次第、  
メールマガジンやwebサイト等でお知らせいたします。



昨年は各学部・研究科に加え、リユニオン45団体が参加しました。ホームカミングデー限定の懐徳館庭園一般開放は、人気コンテンツのひとつでした。



## 第15回

東京大学  
ホームカミングデー  
特別フォーラム  
ダイジェスト  
(2016/10/15 開催報告)

# 「知」がひらく ～新たな価値創造への挑戦

産業・経済の構造変化の中で、イノベーションを通じた新たな価値創造への期待が高まっています。大学の知と産業界を架橋し、価値創造を実現するエコシステムをいかに創っていくか。

「東京大学ビジョン 2020」の一翼を担う卒業生の役割について考えます。

(於:安田講堂)

## その大学の役割は社会が判断する(石川)

### 価値創造への立ち位置

**柁:** 始めに皆さんがどんな立ち位置で新たな価値創造にアプローチしているか、自己紹介を兼ねてお話しください。私自身は学生時代、アナゴとアサリという若干イノベーションとは距離のある研究をしておりました。

**石川:** 初代の産学連携本部長として東京大学の産学連携の立ち上げと設計に関わりました。高速画像処理でロボット、VR、書籍電子化、医療等の世界を変える研究に従事してきました。共同研究のスキームも根底から変えました。情報理工学研究科としては人工知能という大きな流れがあります。全学センターとして「次世代知能科学研究センター」を立ち上げました。

**島田:** 横浜生まれ湘南育ちで学生時代は秋葉原に通いました。もともと工作好きで人々に愛される製品やコンテンツの作り手になれたらという夢があって、電子工学科に進み、家電メーカーに入りました。ビデオカメラなどの研究開発や事業に関わり、研究開発担当役員を経て現在は技術渉外担当として、政府や業界団体の活動に参画しています。この40年くらいを見たとき、大きな流れでワクワクすることが何度かあって、20年前のインターネット、今が次のワクワクの時期で、IoT、人工知能などで新しいサービスが生まれそうと期待し、貢献できればと感じています。

**新宅:** 経済学研究科で専門は経営学、特に製造業の経営の問題に取り組んでまいりました。2002年に「グローバルビジネスリサーチセンター」をつくり、その後「もの

づくり経営研究センター」に発展しています。「ものづくり経営研究コンソーシアム」や「ものづくりインストラクター養成スクール」も展開しています。「社内イノベーターコース」という新しい修士課程のコースを2017年4月から始めます。現場で起きている現象をしっかりと見てそこから考え、知識を普遍化・汎用化し社会に戻していくこと、また現場の人が集まる知識交流のプラットフォームづくりをしています。

**谷家:** ソロモンブラザーズでアジアの投資責任者を務め、その後ベンチャー投資をするようになりました。創業支援としてはオンライン生命保険会社や、日本初のインターナショナルボーディングスクール (ISAK) などに参画しています。マクロに伸びる分野に投資をすることが大事です。伸びる分野とは社会にある一番大きな問題を解決する分野と思っています。大きく三つのことをやってきました。一つはアジアで、インフラや今後伸びてくる需要に応えること。二つ目は日本で新しいユーザーの立場にたったもので、ネット系のものが多い。三つ目が一番やりたいものです。資本主義はどうみても行き過ぎたと思っていて、次に世の中がこうなったらいいなと思うもの。その一つがISAKです。アジアのハングリーで才能ある子供たちを迎え日本の子供たちも一緒に勉強しています。さらに東洋的な価値観が見直されると思い、ヨガやインドフルネスの会社にも関わっています。

**菅:** 理学研究科で生物有機化学、化学と生物学の接点で研究しています。開発した三つの技術を基盤に「ペプチドリーム」を2006年に創業しました。東証一部に上場し時価総額2800億円になっています。特殊ペプチド医薬品の開発を国内外の製薬企業と連携して進めています。アンメット・メディカル・ニーズに応えることによって

技術を社会に還元する夢、「特殊ペプチド創業」は当時製薬会社に認められておらず Visionary (夢的な) 創業アプローチであったこと、大学ベンチャーとして日本にない例をつくるという思いから創業しました。インベンションは大学でできる、イノベーションは外でやってくれる人と組むことにより、ビジネスとアカデミアを完全に分け、アカデミアの自由な研究を守りながら、イノベーションを最大に高めることを考えました。利益の一部が大学に還元されることで東大にも貢献できていると思っています。

### 産学連携から産学協創へ

**柁:** みなさん実に様々な角度から新しい価値創造にチャレンジしておられます。石川さん、新しい価値をつくるにあたって、大学は今どんな状況におかれているのでしょうか。

**石川:** 東京大学は「産学協創」を掲げています。協力して新しいものを創る「協創」です。大学の役割は法律が変わって、従来の「教育」「研究」に「社会貢献」が加わりました。大学は知識集約の拠点としてだけではなく価値創造の拠点でなければなりません。その価値は研究者が判断するのではなく社会が判断するものです。大学の成果は社会に対して発信しそれに対する反応、価値の評価をいただいて研究を進めていく必要があります。これが産学連携、産学協創の基本になります。

研究成果の活用には三つの流れがあります。一つは非営利の社会に貢献すること。論文で発表し、広く世界に新しい知識を供給するタイプの社会還元があります。営利では、既存のマーケットの場合は既存企業を通しての事業化というプロセスになります。もう一つのパスは新規マーケットの場合です。多くの場合ベンチャー企業が新規



## Panelist

**石川 正俊** 東京大学大学院情報理工学系研究科長・創造情報学専攻教授

**島田 啓一郎** ソニー(株) 執行役員、中長期技術・技術渉外担当

**新宅 純二郎** 東京大学大学院経済学研究科教授

**谷家 衛** あすかホールディングス株式会社取締役会長

**菅 裕明** 東京大学大学院理学系研究科教授

## Moderator

**榎 太一** 日本テレビアナウンス部所属

マーケットを取りこみます。技術移転と同時にファイナンスの問題が派生します。リスクマネーをベンチャーの中でどう育て、利益を還元する仕組みをつくるか。研究成果で社会の価値を最大にするには使うパスに強く依存します。民間の人は大学に来るとよく、「この技術にはマーケットがありますか」、「従来の性能と比べてどうですか」と質問します。これは、まったくもって愚問です。マーケットのあるようなものは新規ではないのです。

**菅:** 大学はインベンション、発明でしか貢献できません。社会でイノベーションに関わることが出来る人たちが、我々の方を向いてくださることが重要で、そうしないとスパーク生まれません。

**新宅:** 企業や組織がどうしたらイノベーションを起こしたり起こせなかったりするの、イノベーションの起きる組織的なメカニズムの研究に取り組んできました。インベンションをイノベーションにつなげようという理系の先生方とはちょっと立場が違います。人材教育でいえば、社会の中で企業の中でイノベーションを起こせるような人材を大学から輩出したいと考えています。

### イノベーションを起こせる人材とは

**榎:** イノベーションを起こせる人材とは端的にいうとどういう人材ですか。

**新宅:** イノベーションはインベンションと違い技術的な要素や基本的知識としては、あるものを使う。どこにどういう知識があってどう組み合わせれば魅力的な新しい価値になるか構想して実際に結びつ

けていく、プロデューサーのような役割をする人が重要です。**菅:** 「市場がありますか」ではなく、自ら市場を創り出せる人がイノベーターでありイノベーションを起こせる人です。

**谷家:** 与えられた問題を解く時代は終わって、どの問題を解くかを考える力が遥かに重要になってきています。アメリカにIDEOというデザイン会社があります。どの課題から解決するかデザインするデザインシンキングという考えでコンサルをしています。IDEOとスタンフォードが共同してd-schoolというデザインシンキングをもとに考える教育を作っていて、ISAKにはそれを持って来ました。

**石川:** 創造性教育の流れや考え方はわかりませんが、実際には難しいところがあります。d-schoolとオーリン・カレッジは創造性教育を社会の価値評価とつなげてやろうとしています。つまり創造性だけでは評価できない。社会との連携の中で、何が創造的か、今までないこと、こんなことがあったらいいとかの評価を受けるプロセスを教育機関としてやっていかなければならないと思います。

**谷家:** 自分の個性を突き詰めるアプローチの方が面白いものができると思います。創造性というのは自分をより見つめてどんどん追求していく方に近い。マインドフルネス・リーダーシップ、日本の禅に近いアプローチの方がユニークなおもしろいモノが作れるのではないかと考えています。

**島田:** アートやサイエンスの創造性と企業の創造性は違って、人より1日早いとか、1デシベル良いとかは企業では価値に

### 課題を解く前に課題をみつめる(新宅)

なります。トップイノベーターはともかく、普通のイノベーターは育てることができると思います。観察力とか、違うモノを結びつける力をちゃんと認識したらいいのではないかと思います。市場をつくる時に、全くなかった需要をつくるようなことを言う方がおられますが、人の欲求は、江戸時代やルネッサンスの時代から根本的なところはそんなに変わっていないのです。時代とともに新しい産業が生まれて来るのは、その間に技術が進み、インフラが出来たからです。制約が解放され、緩和されてそれで事業・市場・産業になっていくのです。自動運転は人の移動、モノの移動を制御するところが人工知能になる。アメリカの通勤者から見たら時間の制約が大きく緩和する。そう考えると新しい市場のヒントはたくさんあり、これからもいろんなことができますと思います。

### 課題発見能力を鍛える

**新宅:** 今求められているのは、課題を解く前に、課題を見つけること。社会的に今解けば、みんながうれしい課題って何だろうか。それをコンセプトチャライズして、いろんな技術、資源、人を動員していくことだと思うのです。課題をどうやって見つけていくか。これはなかなか難しいと思います。創造性というよりは課題発見能力をどう鍛えるかが重要です。

**島田:** 今第四次産業革命でデータ駆動社会ができてくる。人の体とか住宅とか環境とか実世界が自動的にセンシングされてデータが溜まって、社会課題に貢献できる産業化のチャレンジが進んでいます。課題はお金がかかること、たとえば電子産業はたくさん投資をしなければいけない。最初に役に立つのはサービス産業です。お金が集まりやすい、日々の利益があがりやすいサ

大学はインベンションで貢献する  
ビジネスとアカデミアを分ける(菅)

ービス領域から、お金のかかる開発や設備投資をするところにファイナンスをしていかなければならない。業界を横断したプロデューサーが必要になります。専門性が全部揃っている総合大学はチャンスです。

### 人材を評価できない 企業・大学

**石川：**東京大学には独創性豊かで自ら開拓できる学生がいます。問題は企業や大学がいい能力をもった学生を評価できないことです。グーグルはスタンフォードの学生のスピナウトベンチャー、Facebookはハーバードのスピナウトベンチャーです。彼らスピナウトベンチャーを大学は評価した。グーグルがIPOをしたときにスタンフォードに450億円入った。グーグルをスタンフォードは評価したが日本の企業は評価できなかった。グーグルはそこに課題があったわけではない。それを彼らの意思のもとで作って見たら、使った人が、社会が反応して価値がでた。このことに対する評価はものすごく難しい。

日本の企業・大学は80を90にもっていった人を褒める。0を50にした人をどれだけ大事にして褒めるか。0を50にした人にはリスクがある。社会が反応しない可能性がある。このリスクをどうやって大学や会社はテイクして、埋もれているダイヤモンドを引き出すか、これに日本の社会は慣れていない。総務省のある会議で「変な人枠」を作りました。「変な人」とはなんだかわからないが評価しにくいものをだした人。その結果130倍の応募があった。変な人とは本人の問題ではなくて、評価する側の問題です。評価する仕組みの問題です。

**菅：**本当にイノベーションをつくるような人を大学で教育できると断言していいのかわかりません。MITにはボブ・ランガーのようにいくつも会社を作っている人がいます。給料はもちろん、スピノフの時にMITは大きなヘルプをしている。そういうことを学生が見ることによって、こういうイノベーションがあるのだと感じるのだと思います。

**谷家：**東大生でも創造性がある人はいっぱいいます。チームラボの猪子さんとかむちゃくちゃ面白い。でも彼の作品がどの国で

## 全体をプロデューサーする 総合大学はチャンス (島田)

最初に認められたかという日本ではない。独創性のある人材が出てきたときに最初に認めてくれるのは、海外のマーケットです。海外に認められて初めて日本でも認めもらえるという順番になっているのがもっていないですね。

### プロセスを見せる場としての大学

**島田：**電子工学科の時にスキルとして知りたい理論や技術を教わりに授業にいくと、なぜこの方程式になったかという経緯を先生は滔々と教えます。早く結果を教えてほしいということがあるのですが、その後白紙の状態からものを考えなくてはいけなくなった時に、ものすごく役に立ったのです。ゼロからものを考えることは怖くないわけです。当時の先生方に大変感謝しています。

**石川：**私の講義では、ここに板書するけれど、君たちのこれからの人生にとって1回も使うことがないけれども、これと同じプロセスは何回も使うから、プロセスを理解してほしいと強く言います。また、アイデアを出すときには論文を読むな。アイデアがでたあとは、論文を徹底的に読み、自分のアイデアが世界で勝てるかどうか勉強しろという言い方をします。プロセスを見せる場としての大学は非常に大きな価値をもつと思います。アメリカのシリコンバレーでは、メンターがいっぱい来て、卒業生が帰って来てこうやるといいと示す。そういう場を作ることがこれからの大学の使命かなと思います。

**新宅：**問題定義ができれば後は意外に早い。学生にはそこまでの悩みを自分でやらせないと、課題発見はいつまでたってもできません。

**菅：**学生に課題を考えて来いという自分が解ける課題を考えてくる。0になってもいい課題を考えて来いというのが重要です。0であろうが、できないということがわかった、すばらしいね、という教育をしていかないといけないのかもしれない。

### 価値が還元される仕組み

**谷家：**ダイバーシティが大事です。シリコンバレーがすごいのは、起業家の60%はア

メリカで生まれていない。アメリカで生まれていない人がアメリカでいっぱい起業する。そこにチャンスがあるからです。日本で起業するうちの6割が外国人というのは想像しがたい。どうやってギャップを小さくするかが課題と感じています。

**石川：**日本は社会と大学が一体になって、「協創」して立ち向かっていかなければなりません。例としてベンチャーの税金の問題があります。大学発のベンチャーがうまくいって、一部を大学に戻すという寄付税制があると、次のベンチャーをつくるエコシステムがつくれます。私はエッジキャピタルをつくって、みなさんの成功は大学にリターンがあるという形にしました。自分の成果を社会に役立てたときに、自分の懐に入るだけではなく社会に還元されることで研究者のモチベーションが上がるのです。

**島田：**先ほど結びつけるという話をしました。60年代の音楽業界を思い浮かべていただくと、中高生が好みそうなポピュラーソングはあまりなかったのです。70年代はニューミュージックなどが市場に出回り、家にオーディオが普及しカセットテープでお気に入りの音楽がたまる。それを持ち出せるような環境ができたときにウォークマンが出ます。コンテンツがないとウォークマンは役に立たない。音楽が大衆に普及するところでコンパクトディスクが出る。全部流れです。消費者・社会の視点から、専門性をもちながらも、全部をみてプロデューサーをする人がいれば暮らしも社会もよくなり楽しくなっていくと思います。

### 多様性を活力に卓越性を生み出す

**柘：**最後に今回の議論を踏まえて総長から一言いただければと存じます。

**五神：**柘さん好コーディネーションありがとうございます。多士済々で期待通りのパネルディスカッションでした。「多様性を活力として卓越性を生み出す」と総長になった時から東大の方向として言っています。それが重要であると確信させていただきました。ここにお集まりいただいた方々はこの刺激的なディスカッションを聞かれていろんなアイデアをお持ちになったのではないかと思います。よいアイデアがあったらお聞かせください。みんなで組み合わせるとよいものを提言し、崖っぷちからの脱出、社会変革の駆動力を担う東大になりたいと思います。

## 伸びる個性を突き詰めるのは社会の問題を解決する分野 (谷家)



## 皆さんのキャリアが 大学を支えます

東京大学校友会は東京大学学友会として発足し、今年で13年目を迎えます。今後はさらに卒業生とのネットワークの充実と連携強化に努め、各界で活躍している方々と大学との交流を図ります。皆さんの実績や経験を大学に還元し、社会に活かせる仕組みを作るため、現在ご登録のTFTの勤務先データ等最新情報の更新をお願いします。

## TFT 新名称募集

「TFT」は、4.2万人以上が登録している東京大学独自のオンライン・コミュニティです。卒業生検索、住所や職歴変更などがいつでもどこからでも、卒業生ご自身で行えます。このたびさらに使いやすい形にバージョンアップ！2017年度稼働を目指します。より多くの方々にご利用いただけるように新たな名称を募集します。採用された方にはオリジナル記念品を差し上げます。ぜひご応募ください。

### 募集期間

2017年3月15日～9月末日

### 申し込み

東大アラムナイサイトをご覧ください。



就活を対象に、模擬面接を実施。終了後のフィードバックも貴重。

## サポーター登録の お願い

- 人を育てるのが好き
- 後輩に貢献したい
- 自分のスキルや経験を活かしたい

卒業生室／東大校友会が企画するプログラムにご自身のキャリアを活用してください。

### 募集対象

責任感の強い方

### 活動内容

在学生へのメンタリング、卒業生による就職模擬面接  
ホームカミングデイスタッフ他  
(事前説明会等にご参加いただく場合があります)

### 活動場所

東京大学キャンパス内（原則）

### 申し込み

東大アラムナイサイトをご覧ください。

## 同窓会だより

## 同窓会活動・設立レポート

## 01 東京大学インドネシア同窓会第1回総会開催

2016年10月29日(土)インドネシアジャカルタにおいて、日本人駐在員からなるインドネシア赤門会とインドネシア人卒業生会からなるインドネシア同窓会が合同で第一回総会を開催しました。同地に出張中の園田茂人総長特任補佐がゲストとして参加したほか、日本人20名、インドネシア人16名を含む36名の同窓生が参加しました。総会では、東京大学インドネシア同窓会の規約が制定され、初代会長はBudi Indra氏(ボゴール大、93農院)、副会長は荒川健氏(80工)に決まりました。総会後の懇親会では、インドネシア人は日本語で日本人はインドネシア語で自己紹介を行うなど、会場は和やかな雰囲気になりました。駐在等でインドネシアに行かれる際は是非同窓会会長Budi Indraさん(budindra@ipb.ac.id)までご連絡を。



東京大学インドネシア同窓会の旗とともに

## 02 東京大学ネパール同窓会講演会・懇親会開催

2016年11月29日(火)ネパールPokhara University Patan(カトマンズ)キャンパスにおいて、東京大学ネパール同窓会主催で、国際保健学研究室の神馬征峰教授の講演会および交流会が開催されました。神馬教授の講演会では「開発とは何か」という問いかけを交え、開発途上国の医療への豊富な経験と知識が共有されました。東京大学ネパール同窓会は昨年7月に設立されたばかりの新しい同窓会ですが、会員はネパール人中心に40名を超えています。今後も講演会、総会などを実施予定です。[田中幸夫氏(04年農修)]

## 03 関西東大会創立30周年記念大会を開催

関西東大会は2月5日(日)、ホテルグランヴィア大阪において盛大に創立30周年を祝いました。総会に続く講演会では、濱田純一前総長に「法と人間像」と題して記念講話をいただきました。法は、一定の人間像を想定または期待している。今日においては個人と

社会のつながりをどう考えるか、たくさんの部分社会からなる社会において、同窓会もその一つとして重要な役割をもつのお話がありました。懇親会では関西東大会の北修爾会長の開会挨拶、古谷研理事・副学長よりの祝辞、参加の地域同窓会代表の挨拶などがあり、最後に応援部OBで広島赤門クラブの楨本良二氏のリードによる応援歌「ただ一つ」の斉唱で締め括りました。東大ワールドカフェ関西の開催などを通して、中堅・若手の参加も増え、100人を超える参加者を得て意義深い記念大会となりました。



講演をする濱田純一前総長

## 呼びかけ：東京大学白ばら会合唱団同窓会

卒業後半世紀を記念して、初めてのOB会を計画しています。同窓の方は是非ご連絡を願います。連絡先：竹内 茂(67理) takeuchi@gifu-u.ac.jp

## 2017年海外同窓会の動き

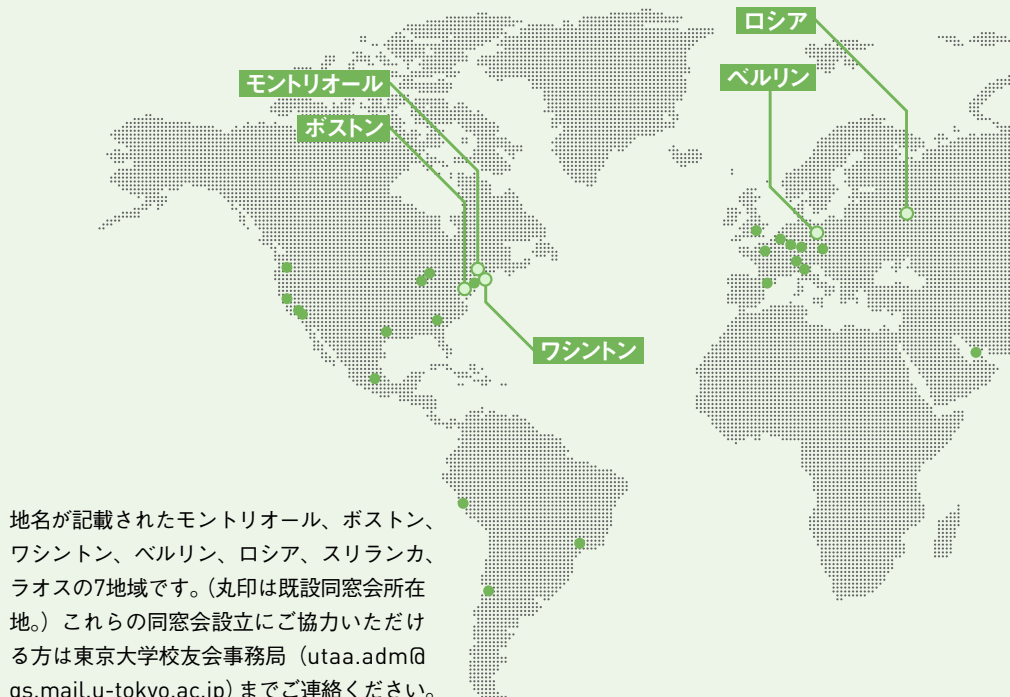
東京大学卒業生室は2005年の設立以来、卒業生ネットワークの強化と大学に貢献いただける卒業生の拡大を一大目標に掲げ、卒業生との連携にかかわる業務を推進してまいりました。お陰様でこの10年あまりで東京大学オンラインコミュニティ(TFT)への登録者数は42,000人、校友会登録同窓会は293団体、うち海外同窓会は51団体まで増加しております。

現五神真総長の下でも帰国留学生を含む卒業生へのアウトリーチの強化が強く求められており、私共も重点課題として取り組んでおります。

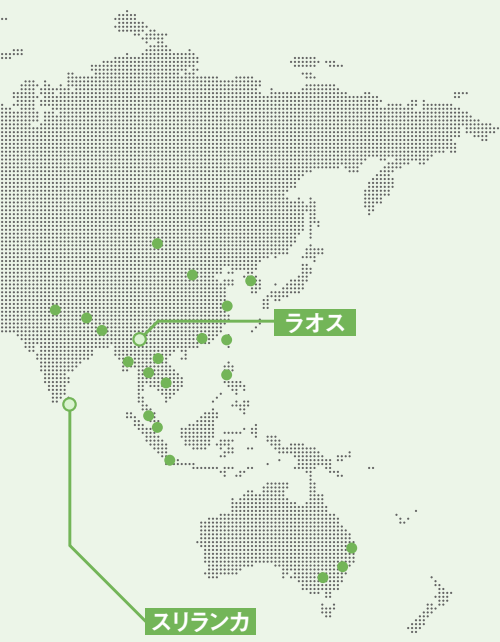
昨年、海外同窓会を対象としてアンケートを実施したところ、大学へのリクエストの中で最も多かったのが「教員の海外同窓会訪問」でした。教員の海外出張時に海外同窓会の集まりで、教員から専門の話と「東大の今」を聞きたいというのがその趣旨です。

卒業生室では、より多くの海外同窓会の皆様のリクエストに応えるべく、教員の海外同窓会訪問の調整をさせていただいております。

2017年の新規設立予定地域は、地図上に



地名が記載されたモントリオール、ボストン、ワシントン、ベルリン、ロシア、スリランカ、ラオスの7地域です。(丸印は既設同窓会所在地。)これらの同窓会設立にご協力いただける方は東京大学校友会事務局(utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)までご連絡ください。また、すでに実態として同窓会活動を行っており、校友会にご登録いただいていない海外同窓会がありましたら、ぜひ、校友会事務局にご連絡ください。



## 新規登録団体のご紹介

### 京都東大会

地域同窓会(京都府) 会長 金馬 昭郎さん(51年二工)

### ライトブルーの会(マレーシア)

海外同窓会 幹事 岡部 養明さん(91年工修)／松元 勝彦さん(04年教育)

### ネパール赤門会

海外同窓会 幹事 田中 幸夫さん(04年農修)

### メルボルン赤門会

海外同窓会 会長 Luke Dugganさん(2000年経)

### 東京大学白ばら会合唱団同窓会

サークル同窓会 幹事 神山 高義さん(08年農)

### 理学部化学科昭和61年卒業クラス会

クラス会(学科) 幹事 中村 哲夫さん(86年理)

## 登録団体数 293 (2017年2月10日現在)

学部等同窓会	45
地域別同窓会	50
海外同窓会	51
運動会	29
文化サークル	17
職域特定分野同窓会	39
クラス会(専門課程同期会)	12
クラス会(駒場)	50

## 掲載広告インデックス

鹿島建設	7P
関西東大会	13P
アークコミュニケーションズ	13P
ブライダル	15P
東北協同乳業	17P
パークレイズ証券	表3
JR東日本	表4

編集発行 / 東京大学卒業生室

古谷 研(卒業生室長)

アートディレクション / 細山田光宣

デザイン / 河村織恵

表紙イラスト / 門坂 流

印刷 / 図書印刷

発行 / 2017年3月7日

東京大学校友会事務局

〒113-8654

東京都文京区本郷7丁目3番1号

TEL:03-5841-1227

FAX:03-5841-1054

Email:utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://www.u-tokyo.ac.jp/index/alumni.html>

## 東京大学基金

# いま貢献して いただけること

東京大学は卒業生、在学生保護者をはじめ、多くの方々からのご寄附に支えられてきました。御礼申し上げます。

創立以来東西文化を融合しつつ、新しい知を作り上げてきたことこそが東京大学の伝統です。次代にむけて中心的役割を果たすために、とりわけ2つのプロジェクトに温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

## 在学生・卒業生・教職員を包括する 東京大学校友会活動 支援プロジェクト

### 在学生へのメンタリング

- ◆卒業生による就職模擬面接
- ◆卒業後の進路を考えるガイダンス

### ネットワーク

- ◆世界トップレベルの卒業生たちと交流
- ◆ホームカミングデイ

### コミュニケーション

- ◆webサイト・メルマガ・会報誌等で最新の情報発信

### 学びの提供

- ◆国内外の卒業生が提供する多様な体験活動プログラム
- ◆海外大学院留学説明会



海外大学院留学説明会のメンターたち

## 「税額控除」制度の適用が認められ、 所得税の軽減措置が拡充!

## 修学支援事業基金

～「学びたい」を応援～

ご寄附は、経済的な理由により修学が困難な学生を対象とした、下記4事業のために活用いたします。できましたら、1口10万円(賛助会員)以上のご寄附をお願い申し上げます。(10万円未満のご寄附も有り難くお受けします)

### 入学金/授業料の免除/減免

### 奨学金の給付/貸与 留学支援

### 教育・研究補助業務手当



「修学支援事業基金」にご寄附いただいた方は、

確定申告の際に「所得控除」と「税額控除」のどちらか有利な方式をご選択いただけます! 詳しくは下表をご参照ください。

確定申告による所得税還付金額の目安 ■色部分:「税額控除」による還付の方が有利

課税所得金額	控除制度	寄附金額					
		1万円	5万円	10万円	30万円	100万円	500万円
300万円	所得	800	4,800	9,800	29,800	99,800	151,200
	税額	3,200	19,200	39,200	50,600	50,600	50,600
500万円	所得	1,600	9,600	19,600	59,600	199,600	463,500
	税額	3,200	19,200	39,200	119,200	143,100	143,100
700万円	所得	1,800	11,000	21,100	61,100	201,100	760,200
	税額	3,200	19,200	39,200	119,200	243,500	243,500
1000万円	所得	2,600	15,800	32,300	98,300	329,300	1,191,100
	税額	3,200	19,200	39,200	119,200	399,200	441,000

※ 家族構成や加入保険等により変動します。あくまで目安としてお取り扱いください。  
※ 「東京大学校友会活動支援プロジェクト」は「所得控除」のみが適用対象です。  
※ 女子学生支援のための「さつき会奨学金基金」も「税額控除」の適用対象となりました。

### 安田講堂に 銘板を

東京大学基金に累計30万円(貢献会員)以上のご寄附をいただいた方は、お名前を刻印した銘板(連名も可能です)を安田講堂に掲示させていただきます。

貢献会員の場合  
・縦20mm×横145mm  
・銅/ブロンズ仕上げ  
・全体の左右どちらか半分に掲載

東大 太郎

## ご寄附のお申し込み

書面/

同封の「払込取扱票」に必要事項(※印欄)をご記入のうえ、各金融機関よりお振り込みください。「寄附目的」の欄は、必ずご指定・ご記入ください。

web/

東京大学基金のホームページからお申し込みください。(クレジットカード、インターネットバンキング、銀行振込)

### 東京大学基金 事務局

電話:  
03-5841-1217

Email:  
kikin.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp  
ホームページ:  
http://utf.u-tokyo.ac.jp/



## 定期的なご寄附を

東京大学基金の「アニュアルギフト」という仕組みでは、クレジットカード決済により定期的(年1回・年2回・毎月)にご寄附いただけます。詳しくはホームページをご参照ください。